

世界にはばたけ！ 八百津の中学生



8月14日(月)から23日(水)までの10日間、八百津町の中学生20名が、八百津町中学生海外派遣研修として、リトアニア・ポーランドに行ってきました。

海外派遣研修は今年で15年目を迎えました。名誉町民の吉田茂さんからの寄付で設立した「吉田茂国際交流基金」を活用し、みずみずしい感性をもつ中学生に、『広い視野と豊かな国際感覚を身につけてほしい』という願いから実施されています。

昨年までの14年間は、アメリカ合衆国へ派遣していました。今年からは第二次世界大戦中、杉原千畝氏が「命のビザ」を発行した国・リトアニアと、痛ましいホロコースト(ユダヤ人の大量虐殺)が行われたポーランドへと、目的地を変えました。

人道のまちの中学生が、かの国でどのように感じ、成長してきたのでしょうか。

出発を5日後に控えた8月9日(水)に、結団式が行われました。生徒代表の八百津中学校3年鶴飼佐和子さんは、「八百津町、そして日本の代表として行ってきます。研修には、吉田茂さんを始め、町の皆さんのおかげで参加できます。そのことを十分自覚し、意味のある研修にしなくてはなりません。事前研修での成果を現地で十分に発

揮し、また実際に行くことでは味わえないものを吸収し、日本に帰ってきました。」と力強く決意の言葉を述べました。

